

経営者に聞く TOP INTERVIEW

運行管理・勤怠管理・経営管理を連携し 運送業務の全体最適化を図る



名正運輸株式会社 代表取締役社長 加藤 新一 様（かとう しんいち）

Contents

運送業務の「今の状況」をリアルタイムに把握	2
クラウド型ICTシステムで14営業所を一元管理	2
ICTシステムできめ細かい配送を実現し荷主様からの信頼に応える	2



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

株式会社富士通マーケティング

運送業務の「今の状況」をリアルタイムに把握

当社は、1965年創業の運送会社です。創業当初から、荷物の保管・管理など、倉庫や物流センターの業務も手がけ、いち早く3PL（サード・パーティー・ロジスティクス）に取り組んできました。モノを運ぶだけではなく、倉庫内での細かい仕分け作業や在庫管理に取り組んできたのが、ほかの運送会社とは異なる当社の強みです。現在では、群馬県前橋市から大阪・住之江までのエリアを14営業所、約270車両でカバーしています。

当社の経営課題を考えると、これまではトラックの運行状況とドライバーの勤怠状況、そして、経営面の実績を別々に管理していたため、会社全体の状況を「見える化」できなかったことがあります。各営業所が個別に運行や勤怠の状況、売上などの実績を管理し、しかもシステムが連携していませんでした。「トラックが今、どこを走っているか」といった運行状況、「何人のドライバーが何日間勤務しているか」といった勤怠状況がリアルタイムにわかれば、コストも利益もすぐに計算できます。運送業務の「今の状況」を把握し、全体最適化を図るため、運行管理、勤怠管理、経営管理を連携し、「見える化」できるICTシステムの導入・活用が不可欠だと考えていました。



クラウド型ICTシステムで14営業所を一元管理

今回、富士通マーケティングのICTシステムを導入したことで、運行管理では、配送中のトラックをリアルタイムで把握できるようになり、配車計画も素早く立てられるようになりました。例えば、ある地点で急遽



の集荷・配送が必要となったとき、近くを走っているトラックはどれか、いつ頃に追加の集荷・配送に対応できるのかがわかります。しかも、当社のトラックは全て自社保有の「自社便」で、荷主様からの急な要望にも迅速・柔軟に対応でき、荷主様のメリットに繋がります。

クラウド型のICTシステムなので、14営業所の状況を一元管理でき、他の営業所のトラックがどこを走っているかも確認可能です。運行・配車の全体最適化がより徹底されると期待しています。目的地



で積荷を下ろしたトラックを空車で走らせるのではなく、ほかの営業所の荷物の集荷に向かわせるなど実車稼働率を改善できれば、運送にかかるコストと時間の両面で荷主様にメリットを提供できますし、顧客満足度も向上するでしょう。

一方、勤怠管理でもICTシステムを活用した効果を感じています。当社は2年ほど前から「時短」をキーワードに業務効率化に取り組んできましたが、勤怠管理の仕事は事務職員の手入力が必要で、思うような効率化ができていませんでした。今では運行管理システムと連携させることで、リアルタイムで勤怠管理ができます。事務職員の手間も時間も削減でき、働き方改革に結びつくでしょう。

経営管理の視点では、現場からの実績報告を待たなくても、どれだけの荷物を運んだか、どのドライバーがどれくらい勤務したか、といった状況がリアルタイムで把握できます。これまでは、ドライバーが営業所に戻ってきてからの報告をもとに集計していましたが、リアルタイムに把握できるので、迅速な経営判断が可能になります。

ICTシステムできめ細かい配送を実現し荷主様からの信頼に応える

また、安全性のさらなる徹底は、最も重要な取り組みの1つです。そこでも今回のICTシステムが大きな役割を果たしています。当社は2012年に道路交通安全活動の国際マネジメントシステム規格である「ISO39001」を国内で最初に取得するなど、安全対策に徹底的

に取り組んできましたが、その取り組みにはどうしても人が介在します。さらに徹底するため、システムや機械に任せられる部分は任せてしまおうと考えました。



これまでも車載器でドライバーの運転状況を記録していましたが、単に「時速何キロで走っていた」といったことしか記録できませんでした。今回の運行管理ソリューションでは、ドライバーがアクセルを踏み込んだり戻したりする「波状運転」の状況まで詳細に把握できます。「運転の中身」までわかるので、安全管理で「今までは見えなかった部分」が見えてきます。ドライバーも「どういう運転が安全運転なのか」を考え、安全運転へのモチベーションが高まっています。これは非常に大切なことです。

今回、当社は運送業務の全体最適化を考えてICTシステムを導入しました。その取り組みが、最終的には荷主様からの信頼性の向上に繋がることを期待しています。当社は大手スーパーへの配送が多いので、荷物の到着が遅れてしまうと、一般のお客様にまでご迷惑をかけてしまいます。影響が極めて大きい。その意味では、「時間」を守ることが「信頼」です。ICTシステムで運行状況をリアルタイムで把握し、何かトラブルが発生したときには、素早く対応するなど、より一層きめ細かい配送を実現できます。運送業務の品質と精度で荷主様の信頼に応え、「時間」と「コスト」の両面で荷主様にメリットを提供していきたいと考えています。

運送業界には首都圏集中の傾向がありますが、当社も創業の地である中京地区限定ではなく、そこに軸足を置きつつも、「RegionからNationalへ」という考えのもと、全国を視野に積極



的に事業展開をしていきたいと考えています。将来的には交通ビッグデータなども活用し、より安全で効率的な運送を実現したいと考えています。



システム導入事例の詳細はこちら

名正運輸 富士通マーケティング

検索



お客様情報



名正運輸株式会社
<http://www.meisho-unyu.co.jp/>

所在地 愛知県海部郡飛島村大宝7丁目60番地
代表者 代表取締役社長 加藤 新一
設立 1969年6月10日
資本金 3,000万円
従業員数 1,500名

事業内容 一般貨物自動車運送事業、貨物自動車利用運送

株式会社 富士通マーケティング
東京都港区港南2-15-3 品川インターシティ C棟 〒108-6207
jp.fujitsu.com/fjm/

お問い合わせ先
お客様総合センター 0120-835-554
ご利用時間：9時～17時30分
(土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く)

(注)記載されている役職などの情報につきましては、2018年6月6日現在のものです。
(注)製品の仕様、サービスの内容などは予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
(注)記載されている製品・サービス名、お客様名およびロゴは、お客様の商標または登録商標です。